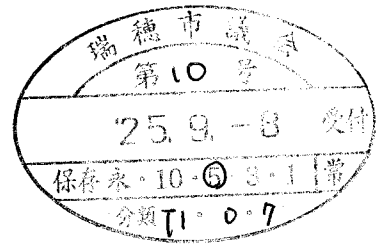


2025年9月8日

瑞穂市議会議員 今木啓一郎 殿

インボイス制度の廃止をめざし、事業者の負担を軽減する経過措置を
継続するよう求める意見書を、国に提出することを求める請願書



請願者

紹介議員

関谷 守彦
鳥 永 佳史
関谷 英樹

【請願趣旨】

7月の参議院選挙では、物価高対策が最大の争点となり、消費税減税とインボイス制度を廃止するよう訴えた政党が得票・議席数とも多数となりました。消費税減税とインボイス制度の廃止を求める民意は明確です。

依然として続く物価高の中で、賃上げ圧力が強まり、人手不足が広がる中で、小規模企業の倒産が増加しています。こうした厳しい状況に拍車をかけているのがインボイス制度です。インボイス制度の実施によって、本来消費税の納税が免除される売上高1000万円以下の小規模事業者やフリーランスが消費税の納税義務を負わされ、その負担に苦しめられています。

インボイス発行に伴う実務だけでなく、発注者による取引排除や値引きの強要など不公正な取引も後を絶ちません。「消費税の価格転嫁ができない」事業者が77%にのぼります。4社に1社以上の(26.1%)取引先が、経過措置が廃止された段階で免税業者と取引を「見直す・取引しない」と回答しています。こうした状況のまま経過措置を縮小・廃止すれば、小規模事業者やフリーランスは、廃業の危機に追い詰められることになります。消費税の正確な計算は「区分記載請求書」で十分可能です。以上の趣旨から、下記の事項について請願いたします。

【請願事項】

- 1、 インボイス制度の廃止をめざし、経過措置として実施された「2割特例」「8割控除」の継続を求める意見書を国に提出して頂くこと

インボイス制度の廃止をめざし、経過措置として実施された「2割特例」
「8割控除」の継続を求める意見書

7月の参議院選挙では、物価高対策が最大の争点となり、消費税減税とインボイス制度を廃止するよう訴えた政党が得票・議席数とも多数となりました。消費税減税とインボイス制度の廃止を求める民意は明確です。

依然として続く物価高の中で、賃上げ圧力が強まり、人手不足が広がる中で、小規模企業の倒産が増加しています。こうした厳しい状況に拍車をかけているのがインボイス制度です。インボイス制度の実施によって、本来消費税の納税が免除される売上高1000万円以下の小規模事業者やフリーランスが消費税の納税義務を負わされ、その負担に苦しめられています。

インボイス発行に伴う実務だけでなく、発注者による取引排除や値引きの強要など不公正な取引も後を絶ちません。「消費税の価格転嫁ができない」事業者が77%にのぼります。4社に1社以上の(26.1%)取引先が、経過措置が廃止された段階で免税業者と取引を「見直す・取引しない」と回答しています。こうした状況のまま経過措置を縮小・廃止すれば、小規模事業者やフリーランスは、廃業の危機に追い詰められることになります。消費税の正確な計算は「区分記載請求書」で十分可能です。

以上の趣旨から、インボイス制度の廃止をめざし、経過措置として実施された「2割特例」「8割控除」の継続を求めます

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年 月 日

岐阜県瑞穂市議会議員 今木啓一郎

衆議院議長 殿
参議院議長 殿
内閣総理大臣 殿
財務大臣 殿
経済産業大臣 殿